

なごやの学童保育

市連協ニュース

2020年度 No.6/12月1日発行
 名古屋市学童保育連絡協議会
 TEL (052) - 872 - 1972
 FAX (052) - 308 - 3324
 E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

施設木造木質化に意義

議連と学習会

名古屋市学童保育連絡協議会(市連協)は11月21日(土)、名古屋市会学童保育議員連盟(議連)所属の議員向けにリモート学習会「学童保育木造木質化について考える」を開きました。学童保育施設の木造化・木質化の意義を一緒に考えてもらう催しです。名古屋大学名誉教授の佐々木康寿先生と同准教授の山崎真理子先生に講師をお願いし、代理を含む議連7人と、近藤昭一衆議院議員が参加しました。

学習会参加議員

(名古屋市会議員)

自由民主党: 松井よしのり氏

公明党: 近藤かずひろ氏、たなべ雄一氏代理

名古屋民主: おくむら文悟氏、うえぞの晋介氏、

森ともお氏、岡本やすひろ氏

(衆議院議員)

立憲民主党: 近藤昭一氏

2016年に発効したパリ協定では、世界各国が温室効果ガス削減の取り組みと目標を掲げています。日本はその一つの策として、国民1人ずつから1000円の「森林環境税」を徴収し、二酸化炭素を固定する森林の整備や木材の利用促進などに「森林環境譲与税」として利用する計画です。2024年からの徴収に先行して譲与は2019年度から始まり、名古屋市でも予算化されました。市連協は譲与税を活用した学童保育施設の木造化・木質化を要望しています。

佐々木先生と山崎先生は学習会で、日本の森林が世界有数の豊かさを持つこと、しかし現在は計画的な手入れがされず荒廃していること、国産材を活用しながら森林を健全に代謝させる大切さを示しました。木造の施設を建てた緑区のおぞら学童保育所の例も紹介しながら、「木育」の観点からも学童保育施設を木造化・木質化することに大きな意義があると説きました。

講演を受け、近藤昭一衆議院議員から「木材が持つさまざまな役割は大事。あおぞら学童保育所の木造化は良い例。国政としての課題をいただいた。しっかりやっていきたい」と発言がありました。近藤かずひろ市議は譲与税の2019年度の使われ方を「既存事業への置き換えが多いという印象」と指摘。2020年度に向け「良い事業に使えるよう後押ししたい」と述べました。また学童保育施設の木造化・木質化を、「越えなければならないハードルはいくつかあるが、目玉となりうる」とし、「みなさんで意見と知恵を出し合い乗り越えたい」と話しました。

オンライン、やってみた

熱田区がZoom練習会

熱田区の連絡協議会では、11月の定例会議で「Zoomの練習会」を行いました。

「オンライン会議」とか「Web開催」ってよく聞きますが、使ったことありますか?保護者会をオンラインで行っている学童保育所があると聞きます。毎月の区連協代表者会議もWebで参加ができるようになっています。3月に行われる「あいち学童保育研究集会」もWeb開催が決定しました。

「スマホがあればできるよ」とか「簡単だよ」と言われても、「やったことないしニガテだからなあ」と思っている人も多いのではないのでしょうか?

熱田区連絡協議会連協の会議でもそんな声がありましたが、逆によく利用している人もいました。練習会では、みんながいるので教えてもらいながらできたし、「スマホとパソコンだと少し違うの?」など見比べることもできました。使ったことのある人でも知らなかった機能を知ることができました。

みなさんの地域でもまずは練習会からやってみませんか? (熱田区連協役員)